

浄化センターのしくみ

浄化センターのしくみを
動画で紹介



1 沈砂池 ポンプ井

沈砂掻揚機
砂を取りのぞきます。
自動除塵機
ごみを取りのぞきます。



2 最初沈殿池

水に溶けない汚
れをしずめて取
りのぞきます。



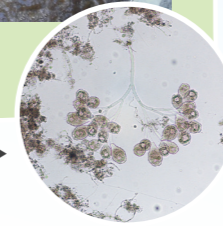
- 池の深さ：3m
- 沈殿時間（しずめる時間）：約3時間

3 反応槽 (タンク)

汚水とまざった微生物
がたくさんいて汚れを食
べます。「送風機」から
空気を送り微生物に酸
素をあたえます。



- 池の深さ：5m
- 反応時間：約6時間



エピステイリス (微生物)

4 最終沈殿池

反応槽で汚れを
食べ、自然に集
まった微生物を
しずめます。



- 池の深さ：3m
- 沈殿時間（しずめる時間）：約3時間

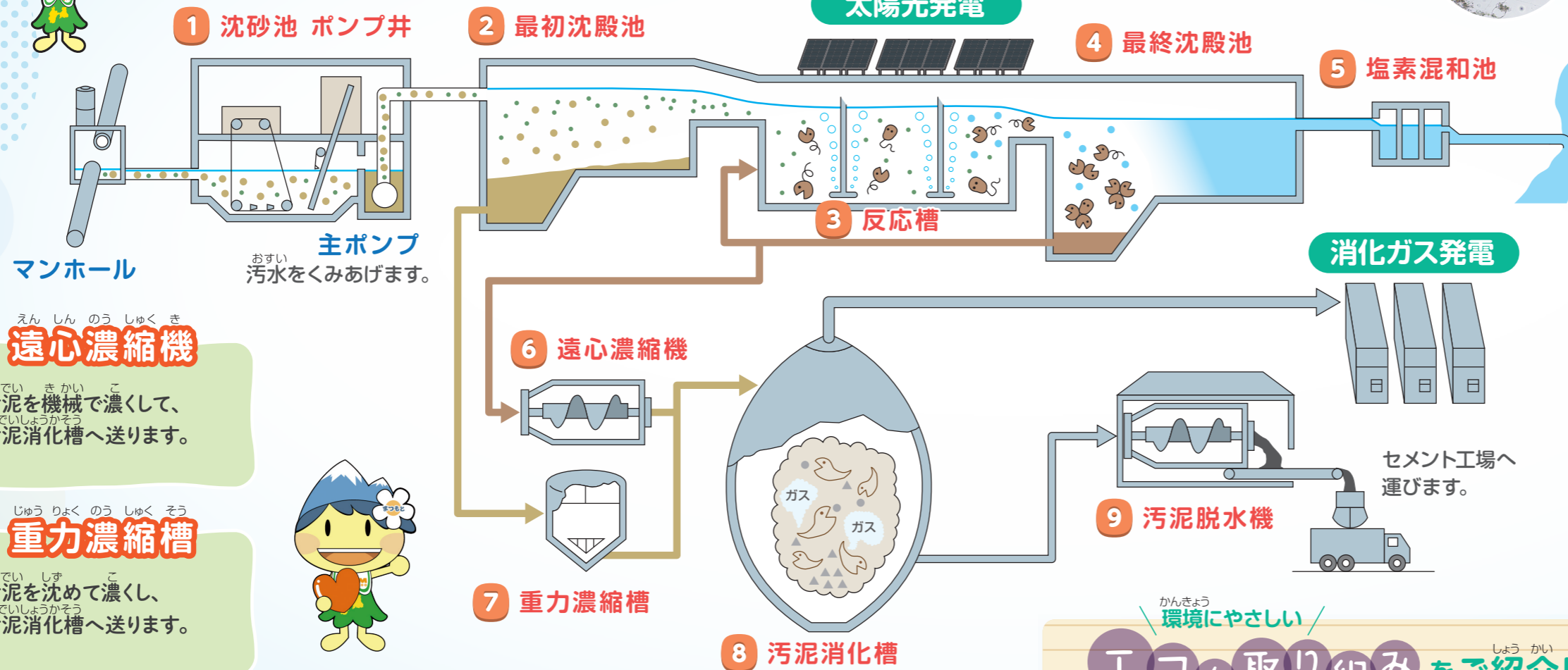
5 塩素混和池

次亜塩素酸ナトリウムで
塩素消毒をします。

奈良井川へ
放流



放流口



6 遠心濃縮機

汚泥を機械で濃くして、
汚泥消化槽へ送ります。

7 重力濃縮槽

汚泥を沈めて濃くし、
汚泥消化槽へ送ります。



8 汚泥消化槽

汚泥を人の腸の
ような働きで消化
させ、量をへらし
ます。



9 汚泥脱水機

減量、安定化させた
汚泥を機械で脱水し
ます。これを脱水ケ
ーキと呼びます。



脱水ケーキ

環境にやさしい

エコな取り組みをご紹介します!

太陽光発電 消化ガス発電

宮沢浄化センターでは、汚泥から発生するメタンガスを利用した「消化ガス発電設備」と「太陽光発電設備」でつくった電気をつかって浄化センターの機械を動かしています。
両島浄化センターでは「消化ガス発電設備」でつくった電気を電力会社に売っています。
さらに、浄化センターから出る脱水ケーキはセメント原料としてリサイクルしています。



消化ガス発電



太陽光発電

エコな取り組みを
動画で紹介

